

ウェルビーイング学領域

令和8(2026)年4月新設(社会人限定)



「ウェルビーイング」とは？

身体的・精神的・社会的にも良好な状態という概念を表しており、一時的・瞬間的に良好かどうかではなく、持続的に良好であることを意味します。その人らしい「生き方」をしながら持続的な幸福状態をどのように継続していけるのか、変化する社会において求められる非常に重要な概念です。

設置の背景

我が国では少子高齢化がさらに進み、都市部では都市部の、地方では地方の様々な課題を抱えています。そのため、その課題解決を図る方略(最近では「社会的処方[※]」と呼ばれるもの)を様々な角度から討論し、最適解を求めていく必要があります。特に高知県では、人口減少社会が増大し、様々な問題が起こっています。その問題を解決していくため、多角的な学問的知見が必要になっています。

※ 社会的処方とは…

医師が患者に対して治療法を決めていく「処方」を、コミュニティ(地域)で、ウェルビーイングを求めて行うことです。元々は、保健医療者から提言されていましたが、最近では非医療者からの提言に対しても使われ、様々な実践が行われています。

設置の目的

高知県立大学では、これまで健康・医療・福祉・教育に関わる専門家を育成し、様々な地域課題に果敢に挑戦する人材を輩出してきた実績があります。また、本学が10年以上続けてきた立志社中や城学共生科目は、その飛躍のきっかけとなってきました。そして今、現場に立って実際に地域課題に取り組む人たちが、もう一度大学に戻り、それを整理し言語化することのできる研究の場として、令和8年4月にウェルビーイング学領域を新設しました。

養成する人材像

社会で活躍している専門職者を主な対象とし、文理横断的な学びを基盤として人々の生活に係わる諸問題に対し科学的にアプローチすることができる人材、そして社会の諸問題に対してリンクワーカーとして活躍できる人材を養成します。



ディプロマ・ポリシー(DP)

人間生活学研究科 共通ディプロマ・ポリシー

- 人間の生活に根ざした学問(栄養・生活学、社会福祉学、文化学)を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている
- 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている

ウェルビーイング学領域ディプロマ・ポリシー<修士(学術)>

- 知識・理解 ウェルビーイング学研究における専門的な知識と技術を身に付けている
- 研究遂行能力 ウェルビーイング学に関する諸課題を2つ以上の領域を横断し、より学際的視点で捉える研究能力を身に付けている
- 総合的な学修経験と創造的思考力 ウェルビーイング学に関する諸課題に総合的に取り組み、地域社会において創造的な実践を展開できる力を身に付けている

真の「地域共生社会」を実現する人材を養成

高知県は、人口減少や少子高齢化に加え、昨今のコロナ禍などにより人との接触機会が減ってきたことで地域とのつながりが弱まってきています。最近では、ヤングケアラー・ダブルケア・8050問題といった複雑化・複合化した課題が増えており、地域でこのような課題を解決するためには、保健・医療・福祉関係機関だけでなく、分野を超えたつながりを意識し、住民などを巻き込んだ地域づくりを進める、すなわち、地域共生社会のあり方をリ・デザインしていくことが必要です。高知県から、全国、世界へと生きづらさを感じる社会に果敢に立ち向かえる真の「地域共生社会」を実現する人材を養成します。

すでに、社会で活躍されている専門職者を主対象とし、自身の専門分野を深めるだけでなく、関連する領域を横断的に捉え、これまで解決が難しかった社会の課題解決方法を探るとともに、社会の複雑化する問題にもアプローチします。

学べる科目

既存の栄養・生活学領域科目、社会福祉学領域科目、文化学領域科目の専門的科目に加え、それらをつなぐことのできる、全体にまたがった科目を学びます。

ウェルビーイング基礎

「ウェルビーイング総論」「社会的処方論」「リンクワーカー論」

情報・データ科学

「人間生活学情報リテラシー」「デジタルデータ処理演習」

ウェルビーイング応用

「共生社会と支援論」「ライフパフォーマンスアセスメント論」「人間の身体と栄養」「住居・まちづくり論」など

例えばこんな授業

「ウェルビーイングスタディ」

ウェルビーイングについて、広く世界の研究者と議論することで、ウェルビーイングの現在地を考える。オンラインを中心に、海外にある本学の交流校の教員とのディスカッションを行う。本学でなければ学ぶことができない科目。

学びのイメージ

人間生活学研究科

栄養・生活学領域

社会福祉学領域

文化学領域

ウェルビーイング学領域

入試について

入試説明会

ウェルビーイング学領域は[社会人区分]のみで募集します。社会人区分での出願には、下記「入試説明会」への参加が要件となっておりますので、必ずご参加ください。

日程



時間 13:00~15:00

実施方法 オンラインあるいは電話にて実施

※他の栄養・生活学領域、社会福祉学領域、文化学領域も同日程で開催しています。

入試説明会申し込み→



入学試験

第1次学生募集

日程



出願期間 7/22(水)~7/29(水)

第2次学生募集

日程



出願期間 11/25(水)~12/2(水)

〈試験科目〉[社会人区分]

- プレゼンテーション
- 面接試験

※台風等で試験が実施できない場合は、9月12日(土)に実施します。

その他の入学試験に関する情報は本学ホームページ「大学院入試情報」及び「令和9年度人間生活学研究科学生募集要項」をご確認ください。

大学院入試情報ホームページ→



高知県立大学大学院

お問い合わせ

高知県立大学 入試課

〒781-8515 高知県高知市池2751番地1
TEL : 088-847-8789 FAX : 088-847-8733
Mail : nyushi@cc.u-kochi.ac.jp

人間生活学研究科では、人々の暮らしに根ざした幅広い研究・実践課題について、栄養・生活学領域、社会福祉学領域、文化学領域、そしてウェルビーイング学領域から多面的に追究していきます。カリキュラム等の詳細については、本学ホームページでご確認ください。

人間生活学研究科ホームページ→

